



令和6年6月26日 開催
財務省 近畿財務局 京都財務事務所
CHIHOMEN NEWS vol.129

女性のための起業セミナー

小さなお店のひらき方

～「好き」や「得意」をしごとにする方法～

「就業の形態の一つとして“起業”に対する理解を深め、キャリアデザインの視野を広げる機会を設けたい」と大学から相談を受けたことをきっかけに、京都市・中小企業基盤整備機構などの支援機関と連携して、起業セミナーを開催しました。



同志社女子大学
Doshisha Women's College of Liberal Arts, founded in 1876



京都市
CITY OF KYOTO





企画のきっかけ

- 同志社女子大学キャリア支援部から「『起業に興味はあるが何から始めたらいいかわからない。失敗が怖い。相談できる人がいない。』と起業への一歩を踏み出せない学生（起業潜在層）が一定数いると感じる。そういった学生を支援し、自分の強みを活かして起業することも就業の選択肢の一つであることを知ってもらいたい。」と相談を受けたこと。

当局には創業支援の補助金もなく、
起業支援のノウハウにも乏しい…
そこで、支援機関と連携して共催することにした！

創業機運醸成 イベント開催支援

地域や教育機関での
創業機運醸成を目的とした
イベント開催を支援

TIP*S



(中小機構HPより)

支援機関



京都市
CITY OF KYOTO

京都市産業観光局
産業イノベーション推進室

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人
中小企業基盤整備機構

◆目的

- ✓ “起業”も、就業の選択肢の一つであることを知ってもらう。
- ✓ 起業に興味はあるものの具体化できていない「起業潜在層」を発掘し、学生起業家の育成を支援することを通して、将来の京都経済を担う人材育成に寄与する。
- ✓ ライフステージの変化に伴い働き方に影響を受けやすい女性に焦点をあて、女性の多様な働き方の実例を示すことで将来の就業選択をより自由なものとする効果を期待すると同時に、社会全体において働き方の多様性を認め、活かす風土づくりに貢献する。



企画概要・プログラム

- 中小企業基盤整備機構の認定アドバイザーを講師として、大学の近隣でカフェを経営している先輩起業家をゲストとして、それぞれ招聘。
- 講師から「起業するには何から始めたらいいか」「起業について相談できる先はどこか」という情報を段階的に伝えるとともに、ゲストから生の経験談を紹介しリアルタイムで質問に答えるトークセッション形式とすることで、**漠然と考えていた「起業」を具体化する機会を提供。**

2024

6月26日

WED.

15:00 ~
16:30

会場



同志社女子大学
今出川キャンパス

楽真館ラーニング・コモンズ
イベントエリアの様子
▼(京田辺キャンパスにも同時配信)

プログラム

- ☑ **起業**ってどんなこと？
- ☑ ゲストとのトークセッション
～女性の**起業事例**～
「半径200m以内の人を幸せにできるお店を目指して」
- ☑ **考えてみよう！**
自分の強みから考える**起業アイデアワーク**
- ☑ **起業するために必要なステップ**





講師

株式会社 PLUS-Y
代表取締役

永田 洋子 氏

- 雑貨メーカー、会計事務所、コンサルティング会社を経て2008年に起業。
- 女性ターゲットの販促支援やイベント企画を行う。また女性の起業支援にも取り組み、セミナー講師や講演、起業支援施設の運営などを実施。
- この活動が評価され、内閣府男女共同参画局より「平成28年女性のチャレンジ支援賞」を受賞。近年は高校生向けの早期起業家教育にも取り組む。

・ 起業分野に知見の浅い当所が、連携してくれる先を探すためには、とにかく多くの起業関連イベントに出向き、財務事務所をPRする必要があった。約100枚の名刺を配り歩き、地域連携への熱意と女性起業家支援をしたい旨の自己紹介を繰り返したところ、まず京都市、そして市の紹介により中小企業基盤整備機構の2先が連携してくれることに。

・ 永田氏は、中小企業基盤整備機構の認定アドバイザーであり「女性のキャリア支援の経験が厚い方をお願いしたい」という大学のオーダーに応える形で快諾いただいた。



ゲストスピーカー

カフェ COUPE
店主

並川 あかね 氏

- 3歳から料理に目覚める。
- 大学在学中、学業のかたわら京都市内のカフェのキッチンスタッフとして経験を積み、その後、同社社員食堂の運営を一人で担うまでに。それらの経験を活かして、念願のカフェを起業。
- 日替わりランチと焼き菓子で常連客を獲得。カウンター6席でありながら、平日ランチタイムに20組が来店する人気店に成長させる。

・ 京都市等が主催し、財務事務所も協力機関として参画している「女性のための起業プログラム」に参加し、ご自身のビジネスプランをプレゼンされていたところを「同志社女子大学の学生がイメージする起業家像にピッタリでは?!」と企画係長のアンテナがキャッチ。

・ ちほめんメンバーで実際に並川氏の経営するカフェcoupeを訪問し確信を深めた後、大学側に候補者をプレゼン。カフェのイメージや、跡継ぎではなく自身で起業された点等が決め手となり、複数の候補者の中から白羽の矢が立つ形で快諾いただいた。

キャリアについて

依頼の経緯等

永田講師



同志社女子大学
吉岡キャリア支援部長



まずは「起業」について知ることから——

冒頭、「起業ってどんなこと？」をテーマに講義開始。

女性の起業が増えていることやその背景、現状の課題などについて説明し、身近な学生起業家の例を紹介。

当日は、今出川・京田辺の両キャンパスから、約70名の学生が参加。



起業って？
辞書的には「新しく事業を起こすこと」ですが、その意味は…

雇われずに働いて稼ぐこと

「雇われない」ということは…

指示命令は受けず、自分で自由に、自分がしたい仕事・やりたい方法で仕事ができること。
自分の行動に対して、すべての責任を負わなければなりません。



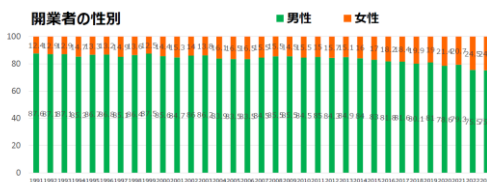
「稼ぐ」ということは…

売上－費用＝「利益」
利益を継続的に生み出していくこと。
利益が無ければ事業の継続はできません。



起業する女性が増えています

開業者の性別



起業する4人に1人が女性の時代

女性の起業の課題

- ・経営知識の不足
- ・家事、育児、介護との両立
- ・ロールモデルや相談相手の不足

ほかに、ジェンダーバイアスや資金調達などの問題も抱えています。



当日の様子

トークセッション

次に、ゲストスピーカーの並川氏による
先輩起業家としての経験談のコーナーへ

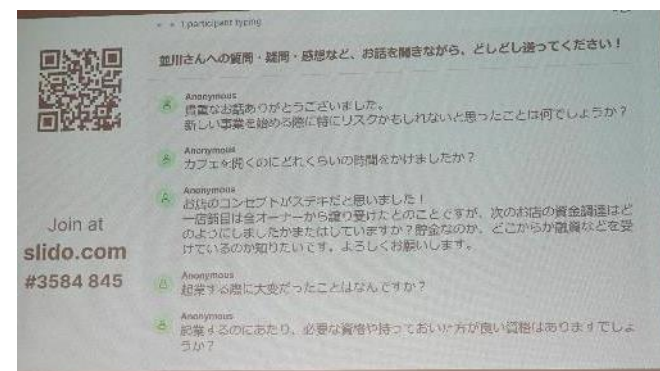
並川氏



和やかな雰囲気の中で展開される
やりがいや苦労話といったトークに
参加した学生は興味深々



その後のトーク
セッションでは、
**学生が手元の携帯
で入力するリアル
タイム質問ツール**
で寄せられた質問
を基に、永田講師
が並川氏に更なる
質問を展開





起業では「自分が今持っているものを活かすこと」が大切。

後半は、自分の強みを知り、起業への一步を踏み出すためのステップについて解説。



起業家判断テスト



自分の強み分析

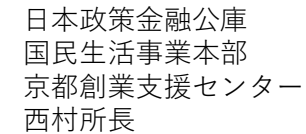
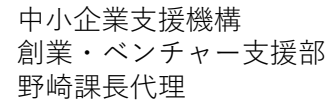
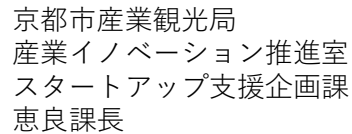


起業までのステップ解説





最後に、支援機関からスタートアップ支援・創業支援に関するイベントや事業を紹介。





参加した学生からは、リアルタイムで多くの質問・反応が寄せられた。

Q 並川さんへの質問・疑問・感想など、お話を聞きながら、どしどし送ってください！



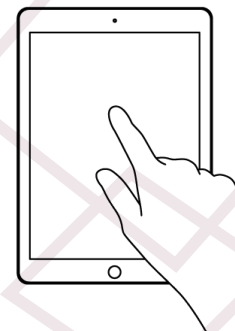
- 起業に向くのはどんな人だと思いますか？
- 将来カフェを開きたいと思っているのですが、カフェを開く準備はどのようにしましたか？
- 相談相手やアドバイザー等はいらっしゃいましたか？
- これからのビジョンや目標は明確にありますか？
- カフェを経営する場合、飲食店などでアルバイトをした方がいいですか？
- 起業してよかったなと一番思うことは何ですか？
- 価格設定はどのように決めましたか？
- 新しい事業を始める際に特にリスクかもしれないと思ったことは何でしょうか？
- カフェを開くのにどれくらいの時間をかけましたか？
- お店の資金調達はどのようにしましたか？
- 起業する際に大変だったことはなんですか？
- 起業するにあたり、必要な資格や持っておいた方がよい資格はありますか？
- 経営知識などはどのようにして得ましたか？

Q 自身の強みを発見しよう！～他人に対して「何でそんな簡単なことできないの？」と思うことは？～

- 相手のことを考えて行動すること。
- 目標に向けて着実に物事をこなすこと。
- 意見をはっきり言う。会話を途切れさせない。やりたいと思ったらつつこんでいく。
- 一番初めに発言すること。
- すぐに行動に移すこと、変化を起こすこと、1人で行動すること。

Q 本日のイベントの内容について、質問があればお受けします！また、感想や意見表明も大歓迎です！

- 社会問題解決のような事業をしたいのですが、利益の出し方がわかりません。
- 人的ネットワークの広げ方についてどうすればいいかアドバイスいただけると幸いです。
- 生活費が心配で一步踏み出せません。何かアドバイスいただけますと幸いです。

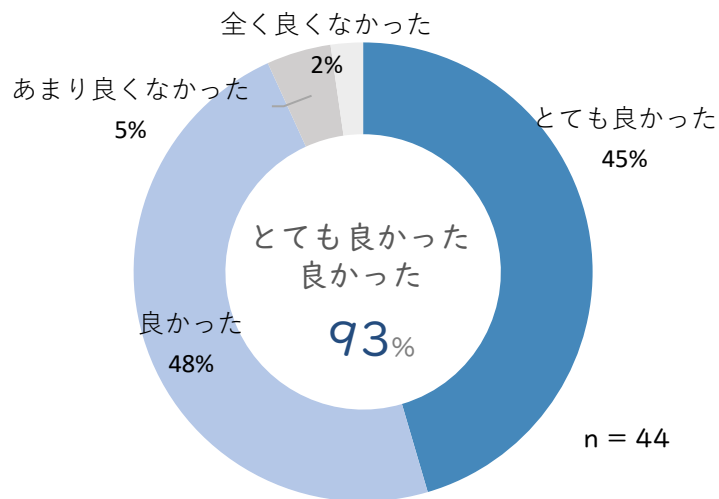




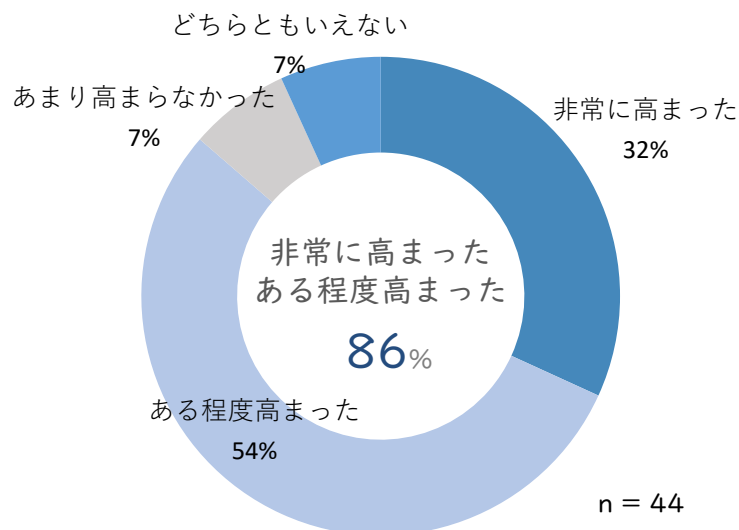
アンケート結果

参加者からは、「起業への関心が高まった」旨の高い評価が得られ、起業潜在層が一定数存在することも判明。

1. このセミナーに参加して良かったですか



2. このセミナーを受講し、起業への関心は高まりましたか



3. セミナーの感想（一例）

- 自分の中の起業は難しい、怖いというイメージが払拭されました。
- 今後の進路の選択肢で迷って参加させて頂きましたが、「小さなところから始める」という考え方、とても大切だと思いました。
- 小さなお店ということで起業のハードルが下がったように思いました。
- 起業についてまず何から始めたらいいか何も分かっていなかったけど、ある程度の流れが知れたし、そんなに怖がらなくてもやってみようという気持ちで挑戦できると感じました。
- 特に、起業のステップを教えて頂けたのがとても勉強になりました。また、「小さい規模での起業」というテーマが私の思い描いている起業プランにぴったりだったので、本当に参加して良かったです。
- 女性は子育てなどで職業選択の幅が狭くなっていたと思いますが、今回のセミナーを聞いて、むしろ自ら行動することでチャンスはたくさんあることに気がつきました。
- 起業とはなにか自分の中で漠然としていたが、今日のセミナーを受けて、意外にもやろうと思えばできるものなのだと感じた。選択肢を広げることができたため、有意義な時間となった。
- 起業はリスクを背負うというイメージが強く抵抗がありましたが、実際に起業されている方のお話を伺い、楽しくお仕事されていて、起業に対するイメージがポジティブなものに変わりました。



アンケート結果

更に、起業潜在層が抱える課題・悩みを深掘りし、特に関心のある内容を具体的に把握。

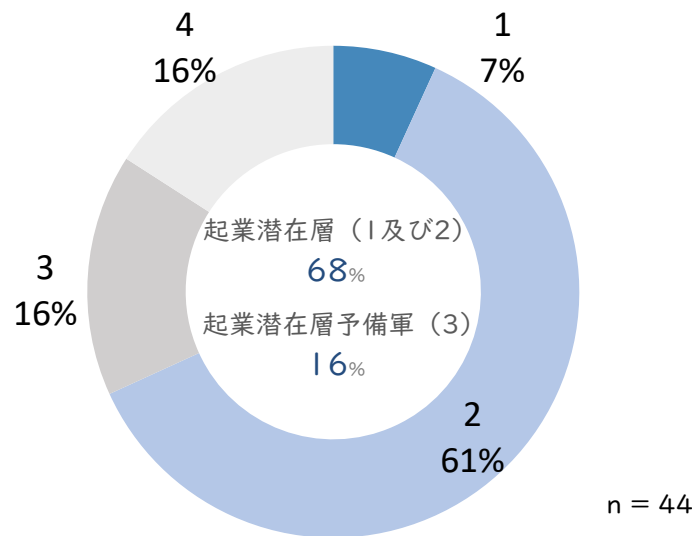
4. 起業に関心を持ったきっかけ（一例）

- 新しいことに挑戦してみたいという気持ちがあるから。
- 周りに縛られず、自分が好きなことを仕事にできればいいなと思ったから。
- 就職活動をしている中で、働き方の一つとして、起業について学んでみたいと思ったからです。
- 就職活動が大変そうで、行きたい会社に行けない人や行きたい会社がない人が周りに多くて、やりたくないことを生活のためにやってる人が多いので、起業という自分のやりたいことをやる選択肢を増やしたいと思っていたから。
- アパレルディレクターのインフルエンサーをたくさんフォローしていて自分のやりたいことを全力で叶えている姿がかっこいいと思ったから。
- 小さい頃からカフェが大好きで、自分もこんな場所をつくってみたいと思ったから。
- 将来、家庭を持った際、仕事を辞めていたら起業するという新しい選択肢の可能性があるなと思ったから。



今後、このようなきっかけ作りができないか

5. 現時点における起業に対する考え方



1. 起業するために具体的な準備をしている
2. 具体的な構想はないが、起業も視野に入れているので情報収集をしている
3. 現時点では起業にそれほど興味はないが、就職だけでなく起業という選択肢も知っておいた方がよいと思い、情報収集している
4. なんとなく受講してみた



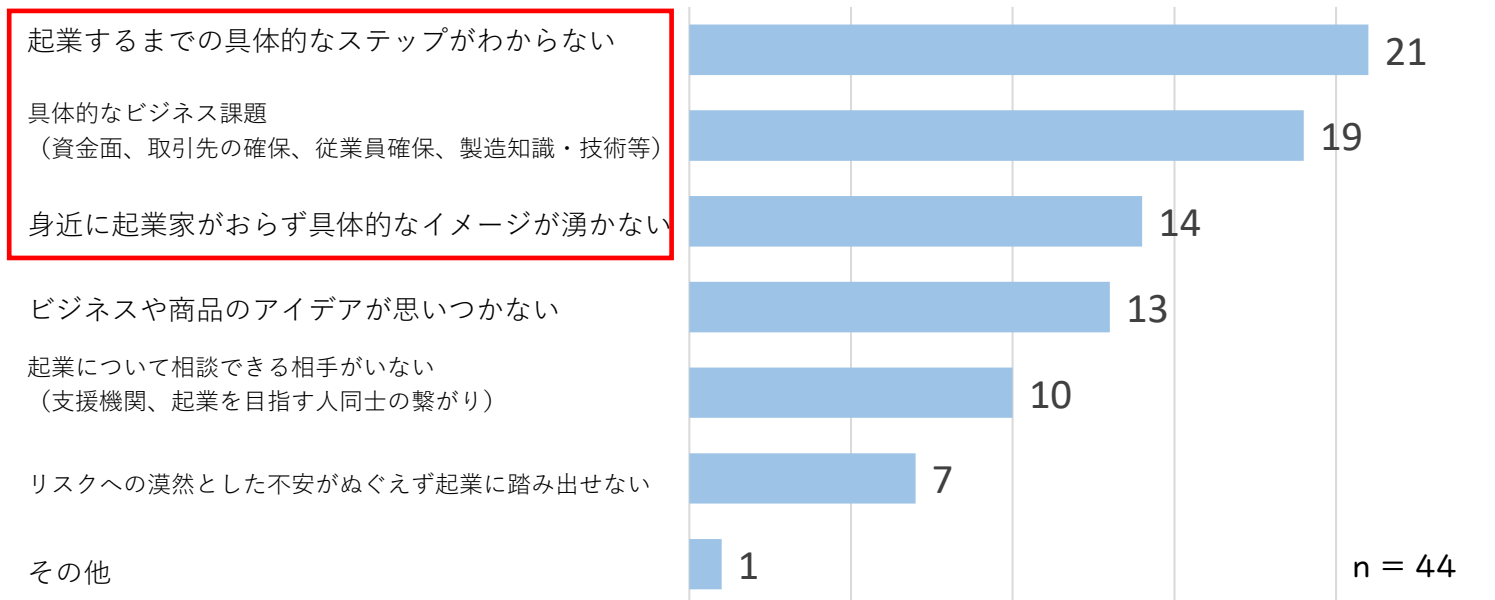
2→1に、3→2に押し上げていく取組が今後求められている



アンケート結果

起業潜在層が行動を起こしていくためには、どのような支援をすれば有効か分析し、今後の展開に向けての検討材料とした。

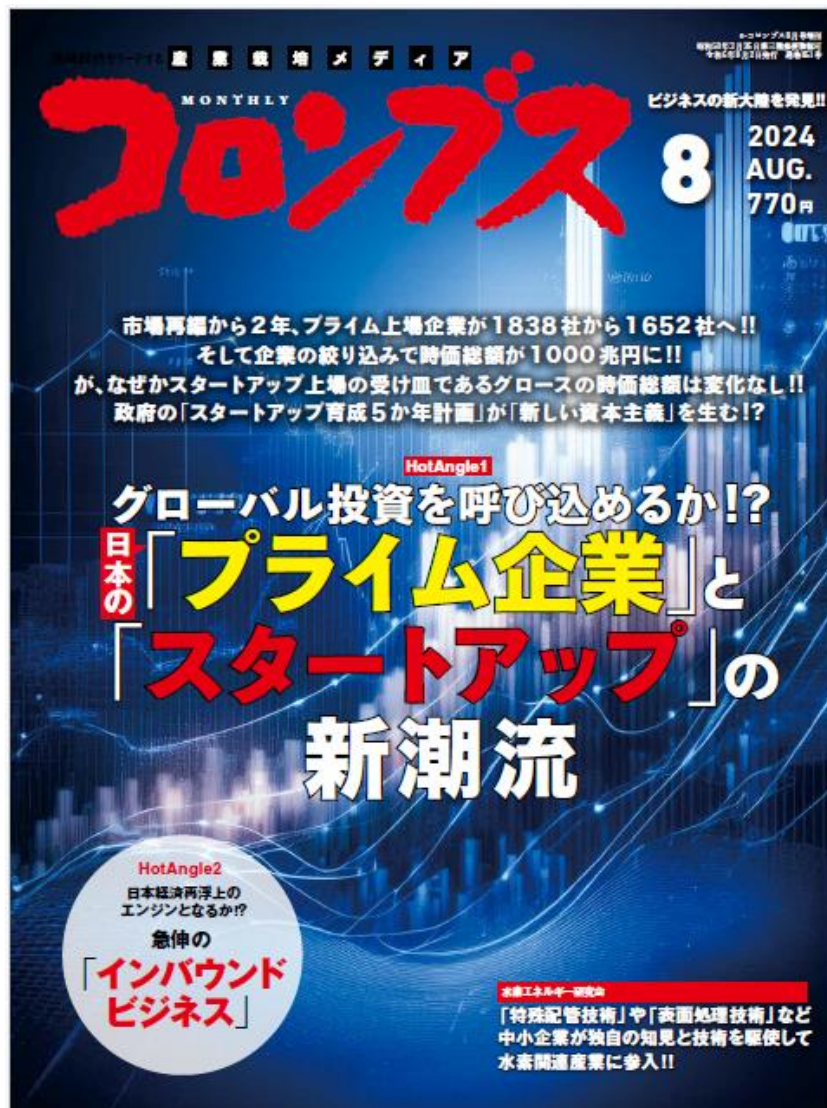
6. (5の質問で1または2を選択した場合) 起業に関して直面している具体的な課題(複数回答可)



起業に踏み切るには、起業までの順序(ステップ)だけではなく、実際に事業を成功させるための見通しが必要。
現状、順序だけでなく、個別具体のビジネス課題への対応方法が分からないため、事業が軌道に乗るまでのイメージが持てない層が多いと考えられる。



今回のセミナーのように、起業までの順序(ステップ)の解説を継続しつつ、もう少し踏み込んで、実際に事業を行う上で整理しなければならないビジネス課題(ビジネスモデル、資金の確保、場所や従業員の確保等)への対応方法についても解説し、「どのようなことを考えれば事業を軌道に乗せられるか」までイメージしてもらうことが有効ではないか。



出典：東方通信社
月刊「コロンパス」2024年8月号
(記事利用許諾済)

同志社女子大学で「女性のための起業セミナー」を開催 「小さな店のひらき方 ～好きや得意を仕事にすることする方法～」 私らしい「起業」とは

6月26日(水) 京都市の同志社女子大学今出川キャンパスで「女性のための起業セミナー」(主催/同志社女子大学、中小企業基盤整備機構、共催/京都市役所、財務省近畿財務局京都財務事務所)が開催された。当日は同校の京田辺キャンパスにもネット配信され、在学生・卒業生や他大学の学生、社会人など約80人が参加した。

基調講演の講師は、株式会社PLUS-Y代表取締役の永田洋子氏。雑貨メーカーや会計事務所、コンサルティング会社を経て、2008年に起業。女性に対する販促支援やイベント企画、起業支援に取り組み、起業支援施設の運営もしてきた。テーマの「起業ってどんなこと」で永田氏は「女性の起業は90年代の約10倍から、2023年には25倍と2倍以上に増えた」と話す。背景としては①ネットによるマーケットの拡大②女性の社会進出などの社会的環境の変化③起業家向けの補助金や融資制度の整備などをあげ、一方、当面の課題として①経営知識不足や②家事、育児、介護などの家庭内の環境③ロールモデルや相談相手の不足などがあると話した。講話の最後には「女性の自立のために「起業」という選択肢があることを知ってほしい」と参加者にエールを送っていた。

ついで永田氏と京都市内のカフェcoupe 店主の並川あかね氏とのトークセッション。並川氏は「半径200m以内の人を幸せにできるお店を目指して」と話し、miiからの経歴を紹介した。3歳から料理に興味を持った並川氏は大学在学中、京都市内のカフェのキッチンスタッフとして経験を積み、卒業後は社員食堂の運営を任されるまでに。その後、カフェを起業。店が左京区役所のすぐ横であることから「隣」という愛称で呼ばれ、日替わりランチと焼菓子で常連客を獲得。成長の秘訣として「すべてをひとりですべてにこなすことはできないので、家族の理解を得るのが大事」「経理や店舗運営については専門家に相談することが大切」「夢を叶えるまでには苦労もあるが、どんな経験も自分の糧となる。まずは行動を起こしてほしい」と話した。

トークセッションの後には「アイデアワーク」も実施。「よく周りの人からお励みされることは?」「他人に対し、「なんでそんな簡単なことができないの?」と思うことは?」などの質問を投げかけられた参加者が「(自分が)起業に向いているか」「(自分の)強みは何か」を振り返り、自身の起業イメージを膨らませる時間となった。その後、起業の準備から起業するま

での具体的なステップや必要な手続き、起業支援機関についても学んだ。

最後に、各機関からのイベント紹介が。京都市からは国内最大級のスタートアップカンファレンス「IVS2024 KYOTO」(7.4-6開催)についてPR。「学生にも、こういったイベントがあることを広く知ってもらいたい。来年も京都での開催を目指す。ボランティアでの参加も大歓迎」と呼びかけていた。中小企業基盤整備機構からは「スタートアップ挑戦事業」について、また、日本政策金融公庫からは大学・大学院・専門学校生に対するビジネス実践のための事業資金を提供する「ビジネス実践ラボ」についての説明があり、起業に向けた支援活動の案内があった。

セミナー開催にあたり、総合調整機関の役割をはたした京都財務事務所は「起業に興味はあるものの不安を抱えている「起業準備中」を発掘し支援する目的で、このセミナーを開催した。予想以上の参加申し込みがあり、社会のニーズを強く感じている。学生たちの将来の選択肢に「起業」もあるということを知ってもらったことが成果であり、一歩目。引き続き社会全体において働き方の多様性を認め、生かす風土づくりに貢献する取り組みを展開していきたい」と話した。

女性による起業、その社会的な機運、枠組みもできつつある。



(左上) 講師の永田洋子氏(株式会社PLUS-Y代表取締役) 右上: 並川あかね氏とのトークセッションの様子 左下: 女子学生たちが熱心に講演に耳を傾け、起業について学んだ



◆財務事務所に相談した背景についてー

キャリア支援部内では企業等就職だけではなく、多様な働き方の選択肢を学生たちに提示したい、その一つとして「起業」について知ってもらいたいと考えておりました。女性はライフステージの変化による影響が大きく、「起業」はそんな女性にとって一つの心強い選択肢となる可能性がある、そんな思いがありました。

しかしながら支援に必要な情報や知見を持ち合わせておらず、学生たちも興味はあっても具体的なイメージが湧きにくい、どこに相談したら良いのかわからないといった状況でした。

そのような中で、京都財務事務所が財政・金融・国有財産だけでなく、地域連携の取組みに注力されていることを知り、誰でも気軽に参加できる形で起業について考える機会を創出できないか、と相談し、セミナー開催の運びとなりました。

◆学生の反応はどうだったかー

当初は、20～30名程度の小規模セミナーを想定しておりましたが、予想以上に多くの学生が興味を示し、学生たちの起業ニーズの高さを実感することができました。

具体的に起業を検討中の学生もあり、必要な手続きや資金調達についてもっと知りたいといった声も聞かれるなど、今後の支援に役立つ情報も大学として把握することができました。

◆今後の展開に期待することー

起業潜在層の掘り起こしを継続しつつ、より具体的な手続きについての情報提供や相談窓口の紹介を行うことで、学生たちが次のステップに進められるような支援に繋がれたらと考えています。

👉 **上記ニーズを受け、第2弾 開催決定！！！！**



予告

COMING SOON

第2弾

令和6年12月 開催予定

起業マインドを
醸成する



ビジネスモデルを
磨く



利益と費用を
考える

参加者が、**自身の夢や希望を元にビジネスモデルを描く一歩目**となるような内容を検討中。
女性の就業選択の視野を広げ、多様な働き方を認め活かす社会づくりに貢献していく。

～京都財務事務所では、地域の課題解決に資する取組みに
今後も継続して取り組んでまいります～

近畿財務局京都財務事務所 総務課・理財課・統括国有財産管理官(1)(2)
TEL : 075-752-1417 / E-mail : kyoto-soumuka@kk.lfb-mof.go.jp